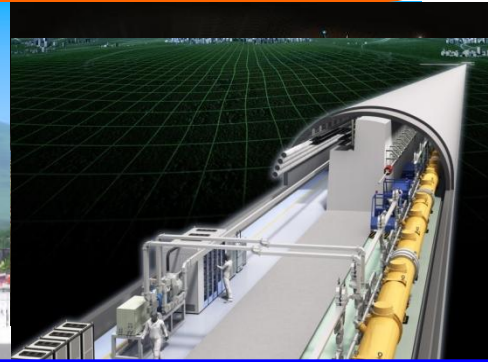
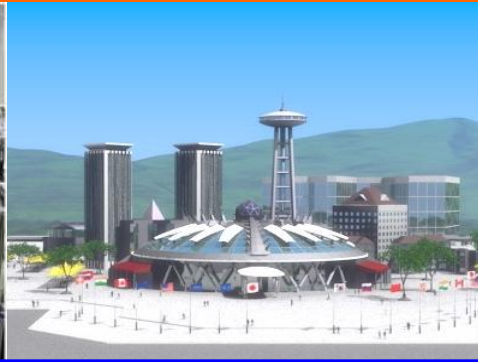


ILCと東北放射光がもたらす 産業発展の可能性！

「ILC(国際リニアコライダー)」とは、宇宙の謎を解明するための研究・実験施設。最先端の技術を必要とする最高の研究施設となるため、世界のどこか1ヵ所だけに建設される予定。東北の候補地(北上山地)に誘致できれば、最先端の科学と技術の拠点が形成され、明るく希望に満ちた東北の将来像と産業の発展・地域の活性化が展望できます。

「放射光」とは、高速で動く荷電粒子が軌道を曲げられるときに発生する「光(電磁波)」のこと。加速器技術の進歩に伴い、放射される光が高輝度、高精細になったことにより、微細構造の分析や材料開発など、産業応用への期待が高まっている。

このような、産業分野への大きな波及効果をもたらす放射光施設を東北に誘致し、産業発展を目指しているのが「東北放射光」構想です。



【日時】平成25年3月13日(水) 13:00~15:30

※12:30開場 13:00からDVDを放映します

【挨拶】東北ILC推進協議会代表補佐 宇部文雄

【講師】山下 了氏(東京大学素粒子物理国際研究センター准教授)

臼杵 毅氏(山形大学理学部教授)

【会場】ホテルメトロポリタン山形 4階 霞城

(山形市香澄町1-1-1 TEL023-628-1111)

【定員】150名(入場無料:参加申込は裏面をご覧ください)

【主催】東北ILC推進協議会、山形大学

【後援】山形県、山形県商工会議所連合会、山形県経営者協会、山形経済同友会、東北経済連合会

講師プロフィール

東京大学素粒子物理国際研究センター准教授 **山下 了 氏**(やました さとる)

1989年 京都大学理学部卒業
1995年 欧州合同原子核研究機構CERNの国際共同実験OPAL参加
1998年 OPAL実験 ヒッグス粒子探索研究グループ総括責任者
1999年 国際リニアコライダー計画ヒッグス物理研究アジア責任者
2007年 同 准教授
先端加速器科学技術推進協議会大型プロジェクト部会長、ILC戦略会議議長などの、ILC計画推進の要職を務める。



【演題】国際リニアコライダー（ILC）計画の概要
～産業・東北地域への波及効果～ 13:30～14:40

山形大学理学部教授

臼杵 毅 氏

(うすき たけし)

1993年 新潟大学大学院自然科学研究科博士課程修了
1993年 山形大学理学部助手
1995年 同 助教授
2003年 同 教授
放射光施設などの大型共同利用実験施設を利用した機能材料の構造基礎研究を専門とする。東北放射光施設専門委員会山形大学委員。



【演題】東北放射光施設の構想 14:40～15:30
～産業に革新をもたらす放射光施設の概要～

申し込み方法 FAXもしくはe-mailで3月11日(月)までに

氏名、会社名又は住所(市町村まで)を記載し申し込んでください

	氏名	会社名	住所(市・町・村)	備考
1				
2				
3				
4				
5				

お預かりした個人情報は講演会の運営にかかる事務のみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

FAX(東経連)022-262-7055

(社)東北経済連合会

TEL 022-799-2103

E-mail t-arihara@tokeiren.or.jp

送信方向